

第5回長瀬町地域創生推進会議 摘録

会 議 名	第5回長瀬町地域創生推進会議	
日 時	平成28年3月2日(水) 午前2時から	
場 所	長瀬町中央公民館 2階会議室	
出席者氏名	委 員	五十嵐元克会長、外池秀彦副会長、新井利朗委員、染野益代委員、新井孝彦委員、板谷定実委員、大澤優巳委員、齋藤慶子委員、前田千恵子委員、豊田世津夫委員、坂本義人委員、鷹啄泰則委員、近藤ヨウ子委員、市川健一委員
	オブザーバー	埼玉県秩父地域振興センター所長 檜田義之氏
	事 務 局	大澤タキ江町長 平健司副町長 企画財政課 齋藤英夫課長、中畝康雄主幹、長島大悟主事 計画策定業務委託業者 (株)ジャパンインターナショナル総合研究所
欠 席 者 氏 名	村山勝委員、小暮俊明委員、高橋英之委員、眞壁恵一郎委員	
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 町長あいさつ 3 会長あいさつ 4 議題 <ol style="list-style-type: none"> 1) 長瀬町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について 2) その他 5 閉会 	
資 料	資料1 長瀬町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)	
議 事 内 容	次ページ以降の通り	

議 事

1 開会

2 町長あいさつ

(大澤町長によるあいさつ)

3 会長あいさつ

(五十嵐会長によるあいさつ)

4 議題

1) 長瀨町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

会 長： 事務局より説明をお願いします。

事 務 局： (資料1に基づいた説明)

会 長： 只今、事務局より長瀨町総合戦略(素案)について、説明がありました。前回までの推進委員会でご意見をいただき、その後、パブリックコメントをいただき、推進本部での検討、議員への説明を経てこの場を迎えています。本日の会議は最終の会議ですが、大きな修正は難しいと思いますが、戦略全体についてご意見をいただければと思います。

委 員： 女性人材登録センターについて、取り組みでは「設置」とあり、K P I では登録人数を示していますが、この違いについてはこのままでいいのでしょうか。また、登録センターはどこに設置することを想定しているのでしょうか。また、戦略の5年間の進め方について教えていただきたいと思います。

事 務 局： 女性人材登録センターについては、まず取り組みとしては設置をしていくことを考えていますが、将来的な具体的な目標として人数を入れています。具体的な場所や方法は未定ですが、これから検討していきたいと考えています。戦略の5年間の進め方については、1年目は戦略を進めて2年目から評価をしていきたいと考えています。評価では外部の委員さんにも協力しながら進めていきたいと考えています。

会 長： 他にいかがでしょうか。

事 務 局： 補足ですが、現在国で地方創生加速化交付金が組まれており、最後の10割補助の交付金になります。長瀨町でもタウンプロモーションの推進と、矢那瀬地区の拠点づくりの2事業を申請しました。来年度からは5割の補助の交付金しか出ませんので、こちらの交付金がもらえることを狙っています。また、総合戦略に掲載した事業についても、優先度をつけて取り組んでいくことを考えています。

委 員： 矢那瀬地区の話がでしたが、山側の歩道が狭すぎだと思います。国道なので、国が整備すると思いますが、そちらに働きかけていただきたいと思います。また、消防署を移転し、その跡地を拠点としていただくのがいいのではないのでしょうか。将来的に国道が広がると思いますので、それに合わせて進めていただければと思います。

事 務 局： 矢那瀬地区の拠点については、歩道の拡張は総合戦略に直接的に位置付けられていませんが、国へ呼びかけることができると思います。また、拠点については、町が一方的に決めるのではなく、住民の中で場所や必要な機能について話し合っ作っていくイメージになります。

委 員： それもそうですが、消防小屋をなんとかしてほしいと思います。

- 事務局： 今回の交付金はソフトの事業になり、拠点づくりに向けた構想をつくるまでになります。ただその中で、消防詰所の建て替えが必要という意見が出てくれば、総合戦略に「防災拠点の整備」もありますので、そちらも検討していくことになります。
- 会長： 確認ですが、新型交付金と加速化交付金は別の財源から出るといふことでよろしいでしょうか。
- 事務局： はい、新型は1,000億円、加速化は1,080億円となっています。
- 会長： 矢那瀬地区については現在PDCAの「P」の段階ということでご理解いただければと思います。
- 委員： 矢那瀬地区以外の事業についても、町民で話し合う場が作られるということによろしいでしょうか。
- 事務局： その通りです。今回交付金はをもらうにあたっては、官民協働で進めていくことが必要になります。
- 委員： 戦略については、今掲載されているものを進めていただければと思います。
- 会長： 他にいかがでしょうか。
- 委員： 「長瀬町学力アップ塾事業の推進」について、KPIに「長瀬町学力アップ塾生徒数」とありますが、これは生徒、つまり中学生だけが対象ということによろしいでしょうか。
- 事務局： 中学生のみになります。
- 委員： 現在200名超の生徒がいますが、半数ほどが入塾するということによろしいでしょうか。
- 事務局： はい。
- 委員： この事業の目的として、学力の向上があると思いますので、100人いけばいいのではなく、学力を向上できるような運営方法も考えてほしいと思います。
- 事務局： はじめはこの形でやらせていただいて、進めていきながら、文言等を変えていきたいと思ひます。
- 会長： では、この案でよろしいと思ひ方は挙手していただいてよろしいでしょうか。
- 委員： （全員挙手）
- 会長： ありがとうございます。では、こちらを「長瀬町まち・ひと・しごと創生総合戦略」として採用させていただきます。続いて（2）についてお願いいたします。

2) その他

- 事務局： 本日案について、ご承認いただきましたので、今後編集、製本の作業をしていきます。また、概要版を作成していますので、そちらも作成できしだいお示しさせていただきます。推進会議はおかげさまで本日もちまして会議は終了ということになります。報酬につきましては、3月25日に振り込ませていただきます。
- 会長： 皆さまのご協力で、無事策定することができました。ありがとうございました。

5 閉会

(終了)